

(1)学力調査結果から見られた傾向

	成果と課題(○:成果, ●:課題)	対 策(・)
国語	○漢字を正しく使う力が身に付いている。 ○文章の流れから話し手の発言の意図を考え、まとめる力が育ってきている。 ●文章と図表などを結び付け、必要な情報を見つけて自分の考えをもち、条件に合わせて書くことが難しく、無回答率も高い。	・スピーチ活動や対話、文章を書く活動を積み重ね、自分の考えをもち伝える力を身に付けるようにする。 ・お礼の手紙や振り返り、意見文など、文章を書くときは、構成や適切な表現の仕方を意識して最後まで書き切るよう指導する。
算数	○伴って変わる二つの数量の関係に着目し、必要な数量を見いだす力が育ってきている。 ○無回答の割合が全国と比べて低い。 ●分数を単位分数のいくつ分として捉えたり、加法で共通する単位分数のいくつ分かを考えたりすることの理解が十分でない。 ●百分率について、「□%」で何倍になるのかの理解が難しい。	・分数の意味や大きさについて、図や数直線で表す活動を通して、具体的に捉えることができるようにする。 ・「□%」がもとの大きさのどれくらいになるのかなど、割合を表す表現と、もとにする量である「1」との関係を繰り返し確認する。
理科	○無回答の割合が、全国と比べて低い。 ●結論を導いた理由を自分の言葉で表現することが難しい。 ●問題を解決するための実験の方法を考えたり、条件が適切であるかを検討したりする力に課題がある。	・実験の結果と考察を区別し、理科の用語を使って説明できるように指導する。 ・「課題の設定、予想、実験、結果、考察」の流れの中で、目的に対してどのように条件を設定すればよいか話し合う場を設定する。

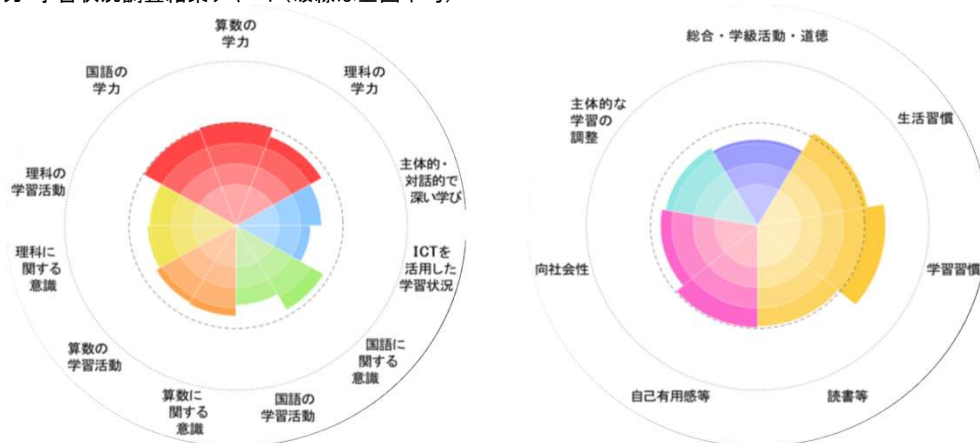
(2)質問紙調査から見られた傾向

	成果と課題(○:成果, ●:課題)	対 策(・)
質問紙	○自分の夢や目標を持っている児童が多い。 ○算数では、あきらめずにいろいろな方法を考えようとしている児童が多い。 ●タブレットの活用が十分でないと感じている児童が多い。	・タブレットを授業でもっと活用できるように校内環境を整えたり、教員間で活用方法を共有したりする。

(3)その他、今後特に力を入れて取り組むこと

学校全体	・各学年の重点的な取組の1つとして「単位」を取り上げ、単位の意味や換算についての理解を図るとともに、1単位の量感を育て、まとまりとしての「1」をとらえたり等分したりする見方・考え方ができるようにする。 ・音読、読書、スピーチ活動、対話を通して学びを深める活動を継続し、語彙力や伝え合う力を伸ばしていく。
------	--

(4)学力・学習状況調査結果チャート(破線は全国平均)



【受検者数】

79

名

※欠席等により調査によって受検者数が異なる場合は、最少の受検者数をもって表示。

(5)質問紙調査の結果より(学力との相関が指摘されているものや、教育委員会として注目しているものを挙げています。)

